

[守谷市北部地域包括支援センター]

B 氏 [男性] 93歳

【病 名】 心不全

【既往歴】 椎間板ヘルニア 前立腺肥大 白内障 ope

【家族背景】 独居/アパート/未婚

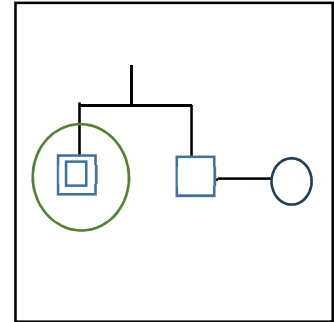
弟夫婦が他県在住

弟も体調が優れず、関与は難しい

【生活状況】 介入時の状況 要支援Ⅰ

認知機能の低下なく、全身状態管理のために訪問看護を利用しながら生活をしていた

【支援経過】



- ・R7年3月 自宅で倒れているところを訪問看護に発見され緊急搬送
加齢による状態低下と診断で、輸液管理とリハビリ目的で入院
- ・ 4月 車いすでの移動(歩行不可、移乗も要介助)だが、強く在宅を希望
- ・ 4月【上旬】 一時外出実施
- ・ <同席者> MSW・病棟Ns・CM・友人(元民生委員)・包括職員
- ・ 4月【中旬】 退院にむけ話し合い
- ・ <参加者> 本人・主治医・MSW・病棟Ns・CM・社協職員・包括職員
本人の意向:在宅での不安があるが、在宅希望
主治医より病状の説明の後、今後の生活について話し合い
- ・ 4月【下旬】金銭管理のため、社協の日常生活自立支援・家計改善支援事業導入
- ・ 5月【上旬】要支援2[区分変更]→要介護3
- ・ 5月【中旬】新規事業所・CM 等との顔合わせ・引継ぎ、在宅において環境調整開始
- ・ 5月【下旬】自宅の整理(介護用品搬入のため)を業者に依頼
入院費、入院前のサービス費用や自宅整理等の精算と今後必要費用試算
- ・ 6月【上旬】退院前の話し合い 2回実施
<参加者>本人・主治医・訪問Ns・福祉用具事業者・訪問診療職員・
自費サービス事業者・友人・包括職員
- ・ 6月【中旬】酸素療法、バルーンカテーテル留置し車椅子で退院し、自宅内伝い歩き
CM を中心にサービスを調整開始
全身状態管理が必要で医療のニーズは高いが、入院時よりも表情豊かになる

【今後の方向性】

現在のサービスの調整は、CM を中心におこない、在宅継続中。本人より没後の希望や手続きについて質問があり、包括で情報提供を行いながら支援継続中。